

令和6年（2024年）度茨城県立医療大学入学者選抜試験における出題ミスについて

2023年11月に実施した保健医療学部の学校推薦型選抜試験及び社会人特別選抜試験（2024年4月入学）において、問題文に矛盾があるため正答を導き出せない出題がありました。当該問題は受験者全員を正解として、改めて全受験生（223名）の採点を実施した結果、合計5名を追加合格とすることが適当であることが判明しました。

このため、4月29日までに当該受験生及び保護者へ説明し、謝罪を行いました。今後、本学への入学意向等が示された場合には、その意向を尊重し、適切に対応してまいります。

1 出題ミスの内容

- ・学校推薦型選抜試験及び社会人特別選抜の総合問題において、33問中の1問について、問題文に矛盾があるため正答を導き出せない出題があった。

2 ミス判明の経緯

- ・2024年4月23日に文部科学省入試ミス対応窓口から、本学における出題ミスの可能性が第三者から出されているとのメールを受信。
- ・直ちに、大学内において指摘事項を検証し、出題ミスがあったことを確認。
- ・当該問題について受験者全員を正解として、改めて全受験生（223名）の採点を実施した結果、5名を新たに合格とすることが適当であることが判明。

3 ミスの原因

- ・入試問題作成にあたっては学内の問題精選委員会等において複数人が複数回点検しているが、問題文の整合性に関する確認作業が不十分であった。

4 これまでの対応

(1) 新たに合格とする受験生への対応

- ・受験生本人及び保護者に対して説明、謝罪を行った。

(2) 推薦元高校等への対応

- ・出題ミスにより新たに合格とする受験生を推薦した高校等に対して、状況説明及び謝罪を行った。

(3) 過去の出題ミスに関する調査

- ・令和5年（2023年）度及び令和6年（2024年）度の学校推薦型選抜試験及び社会人特別選抜の総合問題を再度調査し、他に出題ミスはないことを確認した。

5 今後の対応

- ・本学への入学を希望する場合には、転入学について調整を行う。
- ・必要な賠償等について協議を行う。

6 再発防止に向けた対応

- ・学外の第三者による再発防止委員会を設置し、入試問題作成時の点検手順を徹底するなど、再発防止に努める。